

「音楽探究」シラバス

学科	普通科	学年	3年	類型	I・II	組	1・2組	単位数	2
使用教科書									
副教材等	楽典（音楽之友社）								

1 学習の到達目標

- (1) 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表わす技能を身に付ける。
- (2) 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。
- (3) 音楽の専門的な学習に取り組み、表現や鑑賞に生かそうとする態度を身に付ける。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期の学習内容のまとめりと、下記の評価項目により評価をする。学年末において観点別評価を5段階の評定に統括する。

知識・技能	音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表わす技能を身に付けているか。	(2) (3) (4) (5)
思考・判断・表現	音楽理論と音楽表現を高めたり音楽作品に対する解釈や価値判断などを深めたりするための思考力、判断力、表現力等を身に付けているか。	(2) (3) (4) (5)
主体的に学習に取り組む態度	音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を身に付けているか。	(1) (4) (5)
評価方法	主な評価項目	
授業観察	(1) 学習の状況	
筆記試験（小テスト）	(2) 理論に関する筆記試験及び小テスト	
実技試験	(3) 視唱の実技試験	
鑑賞レポート	(4) 鑑賞レポート提出	
自己評価シート	(5) 授業の取り組み状況及び自己分析	

3 学習の計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい	評価 項目
一 学 期	「楽典」 音 音符と休符 音程 音階 和音 表示法	・音楽を基礎的に理解するために不可欠な、理論や楽語について理解を深める。 ・音楽を形づくっている要素を正しく捉え、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身に付ける。 ・読譜力の向上を図る。 ・理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う	(2) (5)
二 学 期	「聴音」 単旋律 複旋律 和声聴音 「視唱」 コールユーブンゲン コンコーネ 新曲視唱	・音楽を形づくっている要素を正しく捉え、また正確に聴き取る能力を身に付ける。 ・理解したことを楽譜に表す技能を身に付ける。 ・読譜力及び視唱力の向上を図る。 ・曲種に応じた発声を心掛け、表現力を高める。 ・旋律やフレーズのまとまりなど、様々な情報を読み取り、音楽を形づくっている要素の働きやその効果について考え表現力を高める。	(2) (5) (3) (5)
三 学 期	「音楽史」	・音楽の歴史的背景や時代様式を把握する。 ・楽曲の構成や要素を理解し、そのよさを味わう。	(4) (5)

備考 評価項目の(1)については、全ての単元において評価項目として用いる。